

3000本区





3000本区



ヒノキ 3000本区
調査区



スギ 3500本区
調 査 区



3500本区



ヒノキ 3500本区
調査区



ヒノキ 3500本区
調 査 区



5月25日

山形県



237 山ササノ



状況記録写真

区分

森林技術センター

(様式6)



スギ3, 500本区



遠景



遠景



スギ3, 000本全刈区



スギ3, 500本全刈区



スギ3, 500本筋刈区

平成10年度237へ下刈実行前

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



ヒノキ3, 500本区

平成10年度237へ下刈実行前

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成10年度237へ下刈実行前

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



平成10年度237下刈実行後

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



(冬下刈プロット自主)尾根

平成11年度237へ下刈実行前

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



(冬下刈プロット)手前



(冬下刈プロット)尾根



平成11年度237へ下刈実行前

状況記録写真

(様式6)

区分	
----	--

森林技術センター



(冬下刈プロット)尾根



(冬下刈プロット)手前



平成11年度237へ下刈実行後

状況記録写真

(様式6)

区分

--

森林技術センター



平成11年度237へ下刈実行後

技術開発実施報告・計画

様式 2

森林技術センター

課 題	2 低コスト化を目指した適正本数・施業体系の解明			開 発 期 間	平成6年度 ～ 平成45年度		
開 発 箇 所	楠見国有林 237ヘクタール林小班	担 当 部 署	森林技術センター	共 同 研 究 機	技 術 開 発 標 目	3	特 定 区 域 外 内 <input type="radio"/>
開 発 目 的 (数 値 目 的)	植付密度及び保育方法の違いによる利用材積・樹幹形及び低コスト造林の解明						
年 度 別 実 施 報 告	15年度 実 施 報 告				16年度 実 施 計 画 書		
	実 施 内 容		普 及 指 導		1, 除伐 2, 功程調査 3, 生長量調査		
平成6年度 ①試験地設定②植付③設定時調査 ④試験地標示⑤植付功程調査 平成7年度～平成11年度 ①生長量調査②功程調査(下刈) ③植 生長調査 平成12年度 ①下刈(生育状況によりスギのみ実 行) 平成13年度 ①試験地アロットまでの歩道整備・アロット 周囲草払い	1, 除伐 本年度 不実行 2, 歩道修理 下刈り実施後約5年間は試験地内での作業がな く、歩道の痛みが著しく、歩道の整備等を実施し た。		1, 除伐作業に際しては、有用樹については出来る だけ保残することとする。 2, 試験地の面積(9.00ha)が広いので、3年間に分 けて実施する。 3, スギ・ヒキとも生育良好である。スギ箇所には雑灌木 が多く繁茂している。				
技術開発委員会における意見							

- (注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。
 2 「特定区域内外」欄には、技術開発課題の実施箇所について、特定区域内は「○」、特定区域外は「●」、特定区域内外両方は、「◎」のいずれかを記入すること。
 3 「技術開発目標」欄には、「九州森林管理局における技術開発目標(九州森林管理局長通達)」の1～5のうち、該当する目標の番号を記入すること。
 4 「技術開発委員会における意見」欄には、技術開発委員会における意見を記入すること。

試験経過記録

(様式4)

区分

自主課題

森林技術センター

平成12年度実施

下刈

平成11年度の生育状況によりスギ6.05ha及び冬下刈1.00haを実施した。

人工数

スギ 6.05ha 47,500人

冬下刈1.00ha 8,500人

考察

下刈については、冬下刈を含め平成12年度で完了した。

今後のプロット管理のためビニールパイプにより試験地プロット標示及び、刈払いを実施した。

平成13年度実施

試験地管理

人工数： 12,000人

考察

試験地プロットまでの歩道の整備（草払）及びプロット周囲の草払い。

平成15年度実施

1, 除伐 本年度 不実行

2, 歩道修理

下刈り実施後約5年間は試験地内での作業がなく、歩道の痛みが著しく、歩道の整備等を実施した。

考察

1, 除伐作業に際しては、有用樹については出来るだけ保残することとする。

2, 試験地の面積(9.00ha)が広いので、3年間に分けて実施する。

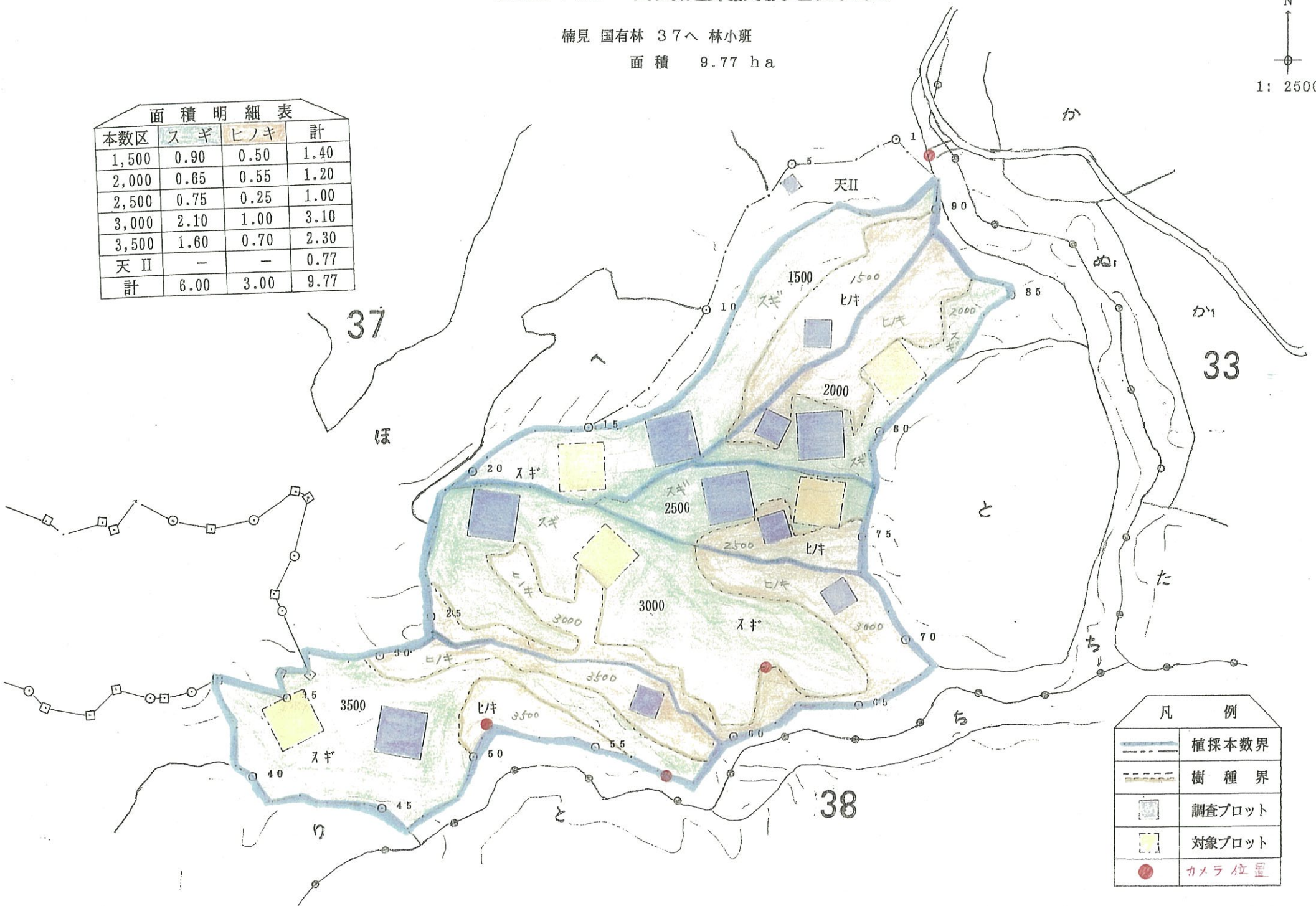
3, 対*ヒキとも生育良好です。対*箇所には雑灌木が多く繁茂している。

適正本数・省力施業試験地位置図

楠見 国有林 37へ 林小班
面積 9.77 ha

N
1: 2500

本数区	スギ	ヒノキ	計
1,500	0.90	0.50	1.40
2,000	0.65	0.55	1.20
2,500	0.75	0.25	1.00
3,000	2.10	1.00	3.10
3,500	1.60	0.70	2.30
天II	-	-	0.77
計	6.00	3.00	9.77



	植採本数界
	樹種界
	調査プロット
	対象プロット
	カメラ位置

状況記録写真

(様式6)

区分	2
----	---

森林技術センター



試験地の遠景

H15.12.17 撮影